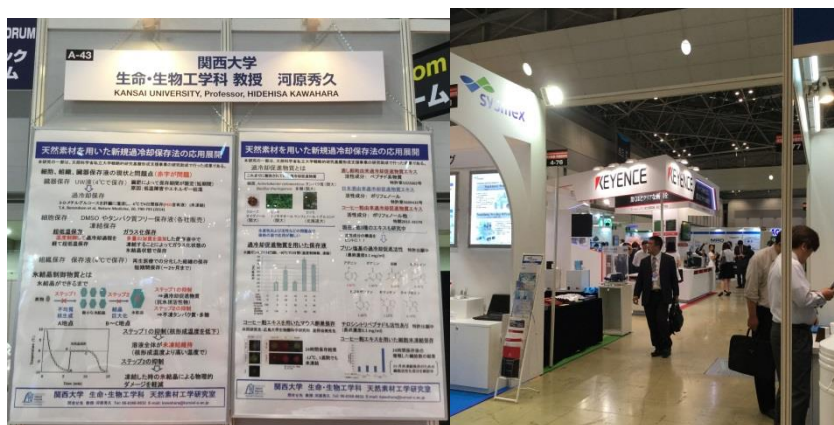


過冷却促進物質を用いた細胞・組織・臓器保存液の開発紹介

2016年5月11日～13日に、東京ビックサイトにて、ライフサイエンスワールド2016が開催されました。この展示会は、医療分野や再生医療分野における新技術シーズの紹介をする大学研究室展示のアカデミックフォーラムコーナーも併設されていた。研究室では個々3年間ほど連続して出展しています。

今回は、「天然素材を用いた新規過冷却保存法の応用展開」というポスター展示と口頭発表を行いました。



口頭発表は、初日の5月11日（水）の12時15分～45分でした。アカデミックフォーラムでの最初の講演者でした。事後に事務局に聞くと、慣れていない先生で、なおかつ集客力の多い先生をトップバッターにしましたとのことでした。お陰様で、50名以上の方にプレゼン30分間を聞いていただき、立ち見状態になりました。内容としては、研究室で現在開発中の過冷却促進物質についての解説とその応用例として、広島大学の星野先生との共同研究のマウス卵巣保存の紹介と研究室で行っているプリン塩基の機能についての紹介を行った。発表後には、多くの方がポスターブースにも質問に来られ、新たな共同研究の話も頂いた。3日間の展示ではあったが、これまでに情報としてなかった問題点も知ることができました。この展示をきっかけに、新たに我々の研究シーズが活かされるように進めていきます。

11日からの3日間の展示会の前日に、学生とともに食事会を行った。今回は、東京スカイツリーのあるソラマチにある「サロンドスイーツ」

(<http://www.tokyo-solamachi.jp/shop/296/>)に行きました。



18時の予約でしたが、17時からのディナー時間から変更して食事をしました。パスタやステーキなど軽い食事の他に、色んなスイーツを食べ放題でした。もっとも強烈だったのは、食間に食べたマカロンで、その甘さに胸焼けをしてしま



まいりました。それ以降、あまり食べれない状態になりました。でもスイーツ一つ一つがおいしく、しばらくスイーツはいらないと学生も言っていました。

また、チャレンジはしたいと思います。

